

## 1. 譲渡又は提供する者の名称及び所在地(製品及び会社情報)

会社名 : シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社  
住所 : 〒141-8673  
東京都品川区東五反田 3-20-14

緊急連絡先電話番号:

03-3537-3939

製品名 : HDL コレステロール沈殿試薬  
製品番号 : 2361B1,236141,112169,114999  
作成日 : 2009/05/25  
改定番号 : 3.0

## 2. 製品の名称及び危険有害化学物質の名称その他の危険有害化学物質の識別に関する事項

下表に記載された製品が本化学物質安全性データシートの対象である。

製品名	製品コード番号	試薬名	試薬コード番号
HDL コレステロール沈殿試薬	2361B1,236141,112169,114999	HDL コレステロール沈殿試薬	2361B1,236141,112169,114999

化学組成物名	CAS 番号	重量%	OSHA	ACGIH	独 MAK	英 OES
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.2	NE	CO.29mg/m <sup>3</sup>	0.2mg/m <sup>3</sup> (8 時間)	0.3mg/m <sup>3</sup> (15分間)
Proprietary material	NE	<10	NE	NE	NE	NE
硫酸マグネシウム	10034-99-8	<96	NE	NE	NE	NE

欧州分類

化学組成物名	EEC番号	危険類	危険コード*	安全コード*
アジ化ナトリウム	247-852-1	Xn	R28-32	S28-45
Proprietary material	NE	NE	NE	NE
硫酸マグネシウム	231-298-2	Xn	R20/21/22	S36

化学組成物は OSHA,IARC,NTP,ACGIH,California,英国又は独国により発癌物質として分類されていない。

## 3. 危険性又は有害性の種類

毒物又は劇物の別

アジ化ナトリウム 0.2% : 毒物劇物取締法の毒物に該当する。

健康への影響の可能性 : 本混合物は全体では試験されていないが、個々の化学成分で健康への影響が報告されている。

経路：粉末又はエアロゾル化した製品の吸入、経口摂取、吸収

化学成分名：アジ化ナトリウム

健康への影響の可能性—急性 性：標的臓器：神経、心臓、脳

眼：刺激性あり

皮膚への接触：刺激性あり

皮膚吸収：即座に吸収される

経口摂取：頭痛、悪心、嘔吐、目眩、胃腸の刺激、目のかすみ、血圧の低下、心拍数の低下、体内pHの低下、体温の低下、痙攣、意識の喪失、致命的な場合有り。

吸入：刺激性、頭痛、目眩、目のかすみ、血圧の低下、心拍数の低下、意識の喪失、致命的な場合有り。

健康への影響の可能性—慢性 性：遺伝物質の変性。その他は確立していない

暴露によって悪化する病態：確立されていない

暴露の兆候及び症状：刺激性、頭痛、目眩、目のかすみ、心拍数の低下

化学成分名：硫酸マグネシウム

健康への影響の可能性—急性 性：標的臓器：確立していない

眼：刺激する可能性あり

皮膚への接触：刺激性あり

皮膚吸収：皮膚からは吸収されない

経口摂取：有害の可能性あり

吸入：有害の可能性あり

健康への影響の可能性—慢性 性：確立していない

暴露によって悪化する病態：確立していない

暴露の兆候及び症状：確立していない

#### 4. 救急時の処置

眼：最低15分間水で洗い流す。

皮膚：数分間石鹼水で洗う。次に継続して合計で15分間水で洗い流す。

吸入：きれいな空気ですべて除去する。

経口摂取：医師を呼び、可能ならばラベルを示す。

応急処置の後、専門医師の診療を受けること。

#### 5. 火災時の処置

引火点：発火性なし

引火方法：発火性なし

燃焼限界：発火性なし

消火剤：炎を覆う適当な消化剤

延焼に起因する独特な様相：なし

特別な消火方法：消火の際に採られる標準的な注意をする。密閉された区域では内部に陽圧

の吸入装置を有する完全防護服を着用する。

## 6. 漏出時の処置

漏出物質の揮発物 : 発火性なし

空気と比較しての揮発物の比重 : 揮発性なし

物質が漏出した場合 :

洗浄方法 : 粉末であれば拭き取る。液体であれば流出物質を不活性な吸収剤で吸い取る。規則に従って廃棄する。汚染域を洗剤と水で洗浄する。

漏出物は訓練を受けた者によって取り扱うこと。漏出物に対する適当な防護装置については、8項を参照すること。

追加の注意事項: なし

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

保管温度 (最低/最高): 2-8°C(35.6-46.4° F)

眼への接触を避けること。反復継続した皮膚への接触を避けること。取り扱い後はすみずみまで洗うこと。

使用しないときは、容器の蓋を閉めること。

他の取り扱い又は保管上の注意: 酸、重金属および、強力な酸化剤との接触は避けること。

## 8. 暴露を防止するための措置

本製品はGLPに従って取り扱うこと。標準的な作業員の防護具は安全眼鏡及び試験室作業服である。その他の推奨は以下のとおり:

眼の保護 : 側部密閉付き安全眼鏡  
皮膚の保護 : 試験室作業服、耐化学薬品手袋  
呼吸器の保護 : 必要なし  
技術的管理 : 良好な空調のある区域で取り扱うこと。

流出事故が発生した場合の適当な作業員の防護具は以下のとおり: ゴーグル (大量の場合は、顔面の保護具)、耐化学薬品手袋及び試験室作業服 (大量の場合は、耐化学薬品エプロンあるいはスーツ)。認められた安全限界を超えて危険成分に暴露した場合、呼吸器による保護が必要となることがある。追加の情報として、2項及び10項を参照すること。

## 9. 物理的性質及び化学的性質

外観 : 白色  
におい : 無臭  
物理的性状 : 粉末  
沸点 : 確立していない

蒸気圧	:	確立していない
蒸気比重	:	確立していない
水への溶解性	:	可溶性
比重	:	決定していない
融解点/凝固点	:	確立していない
pH	:	8.5(調製後)

## 10. 危険性に関する事項(安定性及び反応性)

通常の使用条件下での安定性	:	安定
回避条件	:	加熱及び火災
禁忌(回避すべき特定物質)	:	酸、重金属、酸塩化物、および強力な酸化剤との接触
危険性のある分解物	:	炭素、マグネシウム、窒素、酸化ナトリウム、及び硫黄の酸化物
危険性のある重合	:	発生しない

## 11. 有害性に関する事項

本混合物は全体では試験されていないが、個々の化学成分で毒性情報が報告されている。欧州の規則により危険物に分類されている物質のみの情報である。

化学成分名 : 硫酸マグネシウム

急性データ :

LD <sub>50</sub> (経口)	:	確立していない
LD <sub>50</sub> (経皮)	:	確立していない
LC <sub>50</sub> (吸入)	:	確立していない
刺激性	:	刺激する可能性あり

亜急性データ : 確立していない

化学成分名 : アジ化ナトリウム

急性データ :

LD <sub>50</sub> (経口)	:	27 mg/kg(ラット)、27 mg/kg(マウス)、23.7 mg/kg(鳥)
LD <sub>50</sub> (経皮)	:	20 mg/kg(ウサギ)
LC <sub>50</sub> (吸入)	:	確立していない
刺激性	:	Draize テストで確立していない

亜急性データ : 5206 mg/kg/39D-C,ラット(経口):栄養学的、成長代謝的に体重の減少が見られた。

81250 ug/kg/13W-I,ラット(経口):肝臓の重量変化、死亡。

240 mg/kg/14D-I,ラット(経口):心臓の重量の変化、肝臓の重量の変化、死亡

## 12. 生態影響に関する事項(環境影響情報)

本混合物は全体では試験されていないが、個々の化学成分で生態への影響に関する情報が報告されている。欧州の規則により危険物に分類されている物質のみの情報である。

アジ化ナトリウムは環境下では減成する。太陽光の放射により、光分解を起こす。

アジ化ナトリウムは水中での光分解により金属と窒素ガスから窒化金属が生じる可能性がある。

活性の増加や、温度上昇により土壌中で減衰し、有機酸のアジ化物を生じる。

アジ化ナトリウムは、淡水性の魚に毒性を有する。

### 13. 廃棄上の注意

国又は各地域の規則に従って廃棄すること。

**廃棄に関する追加情報** : アジ化ナトリウムは銅及び鉛と反応し、配管内で衝撃爆発性のアジ化金属を生じる場合がある。

2項及び10項を参照すること。米国環境保護局(EPA)規則(40CFR261)では有害性廃棄物には分類されていない。製品には重金属、揮発性あるいは不揮発性有機化合物、フェノール、殺虫剤又はPCBは含まれていない。(EPA 毒性汚染物質リスト(40CFR401.15)の化学物質ではない。)しかしながら、適切な廃棄方法を決定するために、関連する地域、州及び連邦規則を調査すること)

### 14. 輸送上の注意

DOT 及び IATA では、本製品は以下のとおり分類されている :  
危険性なし

### 15. 適用法令

毒物劇物取締法の毒物に該当する。

毒物及び劇物取締法 消防法〔危険物〕	毒物 危険物第5類
-----------------------	--------------

米国TSCAの状況 : 本製品は医療用具で、TSCAで規定する「化学物質」ではない。

加州提案 65 : 加州安全飲料水及び毒性施行法 1986 に従い、以下の声明がなされている。:  
本製品は加州提案 65 でリストされているがん原性あるいは生殖毒性物質を含んでいない。

欧州:

製剤分類 : 危険性あり  
危険性分類(ES): Xn(有害性あり)

製剤の危険性に関する記述 : コード 20/21/22-28-32「吸引、皮膚への接触、飲んだ場合は有害である。飲んだ場合は、非常に毒性が高い。酸と接触すると非常に毒性の高いガスが発生する。」

製剤の安全性に関する記述 : コード 28-36-45「皮膚に接触した後は直ちに洗剤と水で十分に洗浄すること。適切な防護服を着用し、事故が発生した場合あるいは体の具合が悪い場合は、直ちに医師の診療を受けること(可能であればラベルを示す)」

---

危険性物質に分類された製剤中の成分：硫酸マグネシウム及びアジ化ナトリウム

## 16. その他の情報

作成日：平成12年12月6日

最終改訂日：平成20年10月1日

本化学物質安全性データシートの記述は、改定日時点で Siemens Healthcare Diagnostics の専門家の見解であり、各種文献等から得られた情報に基づいて作成しています。しかしながら必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、本製品の取扱いには充分注意してください。また、ここに含まれる情報は、いかなる保証をなすものではありません。本製品を使用される際には、各施設毎にその用途・用法に適した安全対策を実施してください。